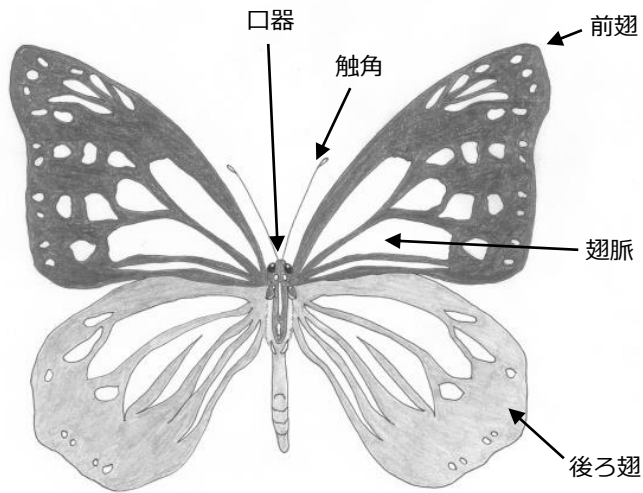




# とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した上川哲朗さんのつぶやき】 この蝶が「アサギマダラ」だと認識したのは、撮影してからしばらく後のことでした。今頃は遙か海を越え、縄文杉で有名な屋久島に無事に渡りおえて、羽根を休めている事でしょうね。



名称：アサギマダラ（浅葱斑）  
 学名：Parantica sita  
 体長：43-65mm  
 分布：本州、四国、九州、沖縄  
 時期：4-7月、9-10月  
 生態：完全変態（卵-幼虫-蛹-成虫）  
 主食：花の蜜（キク科の植物）  
 天敵：マダラヤドリバエ

## 【海を渡る蝶】 2千キロの旅をする、アサギマダラ

○アサギマダラは「旅をする蝶」として有名で、渡り鳥のように春から夏にかけて南から北へ移動し、秋になると南下します。季節によって長距離を集団で移動する習性を持っており、何がこの「渡り現象」を誘引しているのか研究でも特定されていない不思議な蝶なのです。本州から九州、沖縄へと南下していき、さらに台湾へまでも渡っていきます。その距離は約2000キロメートルもあり、唯一国境を超える蝶として有名です。

また、2012年には香港まで約2500キロメートル飛んでいたことがわかりました。

アサギマダラが何千キロも飛んでいることがなぜわかるのかというと、マーキング調査法というもので距離を測っています。捕獲したアサギマダラの翅に直接、油性のフェルトペンで「地域名称」+「人物の略称」+「個番号」などを翅を痛めないよう

に書き、空に放ちます。こうすることで、他の土地で再捕獲された場合、どこから来たのかが把握できるため、どれだけ飛んできたのかわかるのです。

このマーキング調査は簡単に行えるものなので、誰でも気軽に参加することができます。興味のある方は是非アサギマダラネットワークのホームページをチェックし、参加してみてください。



### 「舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓

- ！ケン・プレストン・マフハム 『世界のチョウ図鑑』 ネコ・パブリッシング
- ！鈴木欣司・鈴木悦子 『昆虫好きの生態観察図鑑Ⅰ』 緑書房
- ！今森光彦 『世界のチョウ』 アリス館

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！